

リモートI/O RM5500 デジタル入出力デモサンプルプログラム解説

RM5500 デジタル入出力デモサンプルプログラムは、マウス操作にて、任意のデジタル出力bitをON/OFFすることができます。またデジタル入力をリアルタイムで自動表示します。

同シリーズの基板またはユニットをご購入いただいた直後で、ユーザサイドのソフトウェアをまだ準備されていない状態での、基板の動作試験、あるいは接続したシステムの動作確認に使用していただくためのサンプルプログラムです。

C++にて記述したソースプログラムも添付しています。

弊社ダウンロードページの収納フォルダ RM5500¥RM55demo

このプログラムの動作には、デバイスドライバ（複合版またはダイレクト版）のインストールが必要です。

接続デバイス数	RM55HBインターフェイスBOX 1個
デジタル出力の操作	デジタル入出力ユニットRM5500ユニット 1 ~ 4個 bit位置をマウス左クリックにて ON/OFF 切換え または、コマンド文字列（例 WO120050 (CR)）を キーボードから入力
デジタル入力の表示 起動方法	リアルタイムに自動表示。 サンプル間隔 20ms RM55DEMO.exe を適当なホルダーにコピーし、 マウスにてダブルクリックで起動

コマンド文字列入力

受信文字列表示

動作中にてマーカーが点滅

RM55HB正常動作中「正常」
通信異常時「異常」

RM5500ユニット接続動作中「接続」
接続なしの時「空き」

端子台2590の端子番号

数字はbit番号

デジタル出力マウス左クリックにてON/OFF切換え

デジタル入力ON/OFFを自動表示

RM5500 リモートI/O デジタル入出力表示 [ダイレクト版]

出力bitをマウス左クリックにてON/OFF切換え。 明るい色: ON 暗い色: OFF
入力bitはリアルタイム表示です。 キーボードからコマンド入力もできます。

キ入力 >> _

送信 1 >> W1123456.
送信 3 >> W3654321.

受信 0 >> R0055000&
受信 1 >> R16A2C48&
受信 3 >> R384C2A6&

動作中 ● C8 C7 C6 C5 C4 C3 C2 C1 B8 B7 B6 B5 B4 B3 B2 B1 A8 A7 A6 A5 A4 A3 A2 A1

ID 0	RM55HB	正常	入力	23 22 21 20	19 18 17 16	15 14 13 12	11 10 9 8	7 6 5 4	3 2 1 0
ID 1	出力	異常	入力	23 22 21 20	19 18 17 16	15 14 13 12	11 10 9 8	7 6 5 4	3 2 1 0
ID 2	出力	空き	入力	23 22 21 20	19 18 17 16	15 14 13 12	11 10 9 8	7 6 5 4	3 2 1 0
ID 3	出力	接続	入力	23 22 21 20	19 18 17 16	15 14 13 12	11 10 9 8	7 6 5 4	3 2 1 0
ID 4	出力	空き	入力	23 22 21 20	19 18 17 16	15 14 13 12	11 10 9 8	7 6 5 4	3 2 1 0